

事業所名

児童発達支援 キッズ木馬 清水校

## 支援プログラム

作成日

2026年

3月

1日

法人（事業所）理念		『できた喜びをかんじられるように』『社会参加を視野に』『保護者の方に対するレスパイトケア』の3つを柱とし本人の発達段階や特性に合わせたプログラムを提供していきます。								
支援方針		個別や小集団での活動では、日常生活動作や学習、手先の動きや体のバランスなどクリアすべき課題を抽出し、活動の中に取り入れます。お箸の練習やボタンや紐結びの練習など個別での学習や遊びを通して体を動かしたりします。また、コミュニケーション能力や注意力向上のために小集団活動も行います。ルールを一緒に守って1つの遊びをしたりしながら遊びの輪を広げます。また専門職による環境の調整として姿勢や筋力トレーニングなどを行ったり、屋外にて買い物や社会見学など様々な活動を行います。								
営業時間		9時	00	分から	19時	00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	○散歩、施設外活動（戸外でのルールを守る、現地での安全な行動の仕方、安全な移動の方法、挨拶をする、体を動かし鍛える） ○一人ひとりに合わせて身近自立を促す取り組みを行います。（手洗い・着脱・食事・トイレトレーニングなど） ○危険な場所や遊び方を知り、安全に気を付けられるよう支援を行います。また避難訓練を行い、災害時の安全の確保について取り組みながら知る機会を作ります。								
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の向上（日常生活に必要な基本となる姿勢保持や運動・動作の改善、筋力の維持・強化を図る） ○サーキットトレーニング・運動療育（体幹を鍛える、粗大運動やいろいろな体の動かし方を知る、ボディイメージの獲得、力加減を知る） ○ビジョントレーニング（目の動かし方が向上する、目と手の協応、ルールや順番を守る）								
	認知・行動	○スケジュールの支援（絵カードやタイムタイマーを使い活動スケジュールや始終・見通しを掲示） ○作業訓練・学習（数量や大小・色などの認知、プットイン作業や型落としマッチング訓練による個別支援） ○ソーシャルスキルトレーニング（気持ちのコントロール、声の大きさや力加減を知る、自己理解、事柄を説明できる）								
	言語 コミュニケーション	○紙芝居や絵本の読み聞かせ、読書、言葉遊び、カードゲーム（話の内容を理解する、いろいろな言葉を知り、適切に使えるようになる、ひらがな、カタカナ、漢字に親しむ） ○コミュニケーションの基礎的能力の獲得・向上（言葉の表出や理解の幅を広げると共に、他者との適切なコミュニケーション方法を学ぶ支援を行う） ○読み書き能力の向上（個別課題や宿題などを通して、読み書き能力の向上のための支援を行う）								
	人間関係 社会性	○人との関わりや人間関係の形成（小集団活動、個別活動、SSTなど他者との関わりを通して、他者の気持ちや場に応じた適切な行動ができるよう支援を行う） ○社会性の向上（他者とのやり取りや社会的な場面でルールやマナーを学び、社会性を高めるまた、課外活動や調理体験、買い物体験、歩行を通じての交通ルールの習得、公共交通機関体験など）								
家族支援		・家庭での困りごとに対する助言やサポート ・延長サービス			移行支援		・具体的な移行先との調整、相談援助、連携			
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所との連携 ・保育所や幼稚園、認定こども園、併用利用先との情報共有			職員の質の向上		・定期的な療育会議、職員会議、活動会議の実施 ・職員の各種勉強会や外部研修への参加			
主な行事等		・季節の行事（初詣、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、クッキング等） ・避難訓練（年2回実施）								